別添５-２（別紙１）　取組概要　他分野連携による新たな障害者の生涯学習のモデル・ネットワーク構築

秋田県大館市（所在地：秋田県大館市）

事業名　大館市「障がい者の生涯学習」推進事業

事業の趣旨・目的

・学校卒業後における社会教育施設を活用した生涯学習機会の拡大を促進する。
・障がい者が求める生涯学習講座等を展開する。
・ボランティア登録を継続することにより、障害理解を深化させ心のバリアフリーや合理的配慮を学び、共生社会の実現へつなげる。
・市民への障害理解や関係者の学び合いを促進するとともに、支援者の育成と障がい者の学びの場の拡大を目指す。

主な対象

・障がい者本人（身体・知的・精神・発達ほか）・家族、支援者、関係者、興味のある方（一般市民）など

活動分野

・音楽/スポーツ/普及啓発/その他

事業実施体制・連携先

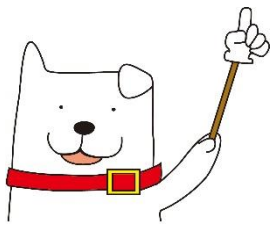
【生涯学習連携協議会の設置】
【コーディネーターの配置】
【連携先】
庁内連携（福祉課、スポーツ振興課、スポーツコミッション、中央・地区公民館）、市立図書館、比内支援学校、市内高等学校（３校）、社会福祉協議会、市内障害者支援施設（６施設）、スポーツ協会、ほくしか鹿鳴ホール
【ボランティアの養成・活用】
障がい者サポーター養成講座受講者
ボランティア登録者数
（R５年度…２６人、R６年度…２２人）



事業内容

○継続　★拡大　☆新規

○生涯学習連携協議会の開催（年３回）
○生涯学習プログラムの実践（年５回講座）
○障がい者支援施設、社会教育施設へチラシを配布するとともに、市広報やSNS等を活用し、障がい者だけでなく市民にも講座情報等を発信し参加者を募る。
○福祉部門と連携し「東京2025デフリンピック啓発イベント」を開催、来場者に対しボランティア登録の説明を行い、同意を得られた方へ障がい者の生涯学習講座情報の発信を行いボランティアの増員を図る。
○「なんでも発表会」を開催し、障がい者の学習活動の成果発表の場を提供するとともに、支援者やボランティア等との相互の共生社会の実現へつなげる。
○公民館と支援学校の連携により、相互に支援する取り組みを継続する。（新春書初め会で使用する杉板制作、公民館でのカフェ開催、芸文祭での軽食提供）
★子どもハローワークにて小・中学生、各校を通じて高校生や大学生等のボランティアを募る。
★障がい者支援施設の利用者が制作した作品の成果を広く周知するため公民館のほか、新たに商業施設や企業等で「みんなのアート展」を開催する。
☆障害理解や関係者の学び合いの促進や支援者の育成、障がい者の学びの場の拡大に向け「コンファレンス」を開催する。
☆スポーツ部門と連携し「ｅスポーツ体験会」を開催、障害の有無に関わらず交流できる場を提供する。



事業終了後の目指す方向性

・就労の有無に関わらず、障がい者が生涯学習に取り組める環境・支援体制を構築する。
・障がい者の保護者を母体とした組織づくりを進め、連携・協働した事業運営を目指す。
・障がい者サポーター養成講座にてボランティア募集を継続し、障がい者支援の輪を広げ障害理解を進めることで、共生社会の実現に寄与する。
・誰もが住みやすいまちづくりへつなげる。

その他

・活動の様子を市ホームページにて発信中！



©大館市